

社会資本総合整備計画（都市公園等） 事後評価書

平成 27年 3 月 31 日

計画の名称	1 明石市における安心・安全で防災性の高い「緑豊かなまちづくり」																
計画の期間	平成22年度～平成25年度（4年間）			交付対象	明石市												
計画の目標	防災機能を持たせた都市公園の整備と老朽化した既存公園施設の改築、公園施設のバリアフリー化を行うことにより、安全・安心で防災性の高い「緑豊かなまちづくり」を目指す。																
計画の成果目標（定量的指標）	1) 災害時の一時避難地となる都市公園の住民一人あたり面積： 3.90㎡/人→3.93㎡/人 2) 老朽化等により改築及び更新の必要な施設のある都市公園の割合： 42%（H21末）→0%（H25末） 3) 都市公園移動等円滑化基準に準拠した公園の割合： 94%（H21末）→96%（H25末）																
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値		備考								
							当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H25末)								
①	1) 災害時の一時避難地となる都市公園の住民一人あたり面積： 3.90㎡/人→3.93㎡/人 災害時の一時避難地となる都市公園の住民一人あたり面積 整備公園面積/人口 292,000人						3.90 (㎡/人)	3.93 (㎡/人)	3.93 (㎡/人)								
②	2) 老朽化等により改築及び更新の必要な施設のある都市公園の割合： 42%（H21末）→0%（H25末） 処分制限期間を越えた施設及び長寿命化計画策定により危険と判断された施設のある都市公園の割合						42 (%)	16 (%)	0 (%)								
③	3) 都市公園移動等円滑化基準に準拠した公園の割合： 94%（H21末）→96%（H25末） 都市公園移動等円滑化基準に準拠した都市公園数/都市公園移動等円滑化基準に準拠させる必要のある都市公園数						94 (%)	96 (%)	96 (%)								
全体事業費	合計 (A+B+C)	649百万円	A	649百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%							
事後評価																	
○事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期												
明石市において実施					H26年度												
					公表の方法												
					市のホームページにて公表												
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	公園	一般	明石市	直接	明石市			都市公園事業（松江公園）	園路、広場、休憩所等 1.1ha	明石市						80	
1-A-2	公園	一般	明石市	直接	明石市			明石市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	施設更新・バリアフリー化等158箇所	明石市						569	
合計																649	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果									備考							

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		災害時の一時避難地となる防災公園を約1.6ha整備した。また、公園内の老朽化した施設の改築及び更新は126公園で実施し、老朽化等により改築及び更新の必要な施設のある都市公園の割合が減少した。さらに、市内の主要な7公園のバリアフリー化が進んだことにより、都市公園移動等円滑化基準に準拠した公園の割合が増加した。 以上のことにより、公園の安全性、快適性が向上した。				
II 定量的指標の達成状況	指標①災害時の一時避難地となる都市公園の住民一人あたりの面積	最終目標値	3.93㎡/人	目標値と実績値に差が出た要因	明石市の事業として防災公園である松江公園（約1.6ha）を整備し、目標値を達成した。しかし、兵庫県立明石西公園（約4.5ha）の廃止により、評価時点での市民一人当たりの避難地としての公園面積は減少している。	
		最終実績値	3.79㎡/人			
	指標②老朽化等により改築及び更新の必要な施設のある都市公園の割合	最終目標値	0%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	9%			
	指標③都市公園移動等円滑化基準に準拠した公園の割合	最終目標値	96%	目標値と実績値に差が出た要因		施設更新は最新の施設点検結果により老朽化が進んでいるものから順次行い、158公園中126公園の施設更新を行った。予算が確保できず32公園が未更新であるが、引き続き公園施設長寿命化計画をもとに施設更新を行い、次期整備計画期間内で完了する予定である。
		最終実績値	96%			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						
3. 特記事項（今後の方針等）						
本計画による成果や未実施事業を総括し、改めてH26年度に公園施設長寿命化計画を見直し、今後も継続して計画的な施設の更新を行うことで、安心・安全で防災性の高い緑豊かなまちづくりを進めていく。						

(参考図面) 市街地整備

